

概要

平成29年度「地域でつながる家庭教育応援事業」家庭教育支援者全県研修

日時：平成29年7月8日（土）10：20～15：45

場所：郡山ユラックス熱海

内容：

□選択研修

① 「発達障がいの理解と支援」

宮城学院女子大学 特任教授 渡邊 徹 氏

② 「家庭における食育の必要性」

桜の聖母短期大学 教授 土屋 久美 氏

③ 「子どもにとってのメディアとは」

新地町教育委員会 指導主事 山田 徹 氏

□全体講義

「こども食堂、白河発！」～”たべまな”から見える子どもの生きづらさと居場所の必要性～

K A K E C O M I 代 表 鴻巣麻里香 氏

□講演・演習

「現代における家庭教育講座の課題と企画」～子どもを取り巻く環境の変化に視点を当てて～

桜の聖母短期大学 教授 堀 秋彦 氏

内容

□選択研修①

「発達障がいの理解と支援」～疑似体験を通して～

宮城学院女子大学 特任教授 渡邊 徹 氏

【内 容】

- ・病気と障がいの違いについて
- ・発達障がいの特徴と、どう理解し、どう接していくのかについて
- ・疑似体験 等

【受講者からの声】

- ・障がいは病気ではなく、その子の個性であり、ルール作りが必要だと言うことを学ぶことができた。
- ・他の人に分かってもらえない本人のもどかしさや苦しみなど、改めて勉強になった。
- ・支援の必要な子どもたちが多くなり、その接し方等まなぶことができた。
- ・もっと早く、研修を受けたかった。今後にも生かしていくたい。
- ・疑似体験をしたことで、より理解できた。



□選択研修②

「家庭における食育の必要性」

桜の聖母短期大学 教授 土屋 久美 氏

【内 容】

- ・食物アレルギーについて
- ・親子で取り組むことの大切さについて
- ・子どもの肥満について
- ・食事の大切さについて 等

【受講者の声】

- ・周りにいる母親に食育の大切さを教えてあげたい。
- ・具体的な例を提示してもらい、さらに理解が深まった。
- ・本県の肥満率がワースト1だということがショックであった。本県のデータを提示してもらい、勉強になった。
- ・子どもの肥満について、親が自覚しないといけないことを学んだ。
- ・朝食をどのように子どもに与えたらよいか迷っていたので、簡単な作り方を学ぶことができてよかった。
- ・食事がいかに大事か分かった。3：2：1のバランスについて印象に残った。



□選択研修③

「子どもにとってのメディアとは」

～思春期におけるメディアの付き合い方について考える～

新地町教育委員会 指導主事 山田 徹 氏

【内 容】

- ・動画（親子関係、親子のコミュニケーション等）についての感想発表
- ・家庭でのルール作りの大切さについて 等

【受講者の声】

- ・ルール作りを通して、より良い親子関係を築きたいと感じた。
- ・メディアから離れることのできない時代での、生き方を学ぶことができた。
- ・日ごとに進歩していく中で、親もそれなりの知識を得ながら対応しなければいけないと感じた。
- ・家庭の意識の大切さや具体的な対応の仕方がわかりやすくなる参考になった。
- ・親子の信頼関係、コミュニケーションをしっかりと取り、話し合いながらルールを決めて守れるようにしていきたい。



□全体講義



「こども食堂、白河発！」～”たべまな”から見える子どもの生きづらさと居場所の必要性～

K A K E C O M I 代表 鴻巣麻里香 氏

【内 容】

- ・子どもの貧困について
- ・現代の貧困とは
- ・貧困と貧乏について
- ・「こども食堂」について 等

【受講者からの声】



- ・貧困に関する知識が深まった。
- ・つながりや居場所作りがいかに大切か分かった。家庭が大事！
- ・今の子どもたちの環境をいかに守ってあげられるか、しっかりと考えなければいけないと感じた。
- ・「こども食堂」の必要性や成り立ちを知り、自分がもっていたイメージが変わった。
- ・親から子への負の連鎖を断ち切るためにどこで何をすべきかを考えるきっかけとなった。

□講演・演習

「現代における家庭教育講座の課題と企画」～子どもを取り巻く環境の変化に視点を当てて～

桜の聖母短期大学 教授 堀 秋彦 氏

【内 容】

- ・講話：子どもを取り巻く環境の変化について
　　子どもを取り巻く課題の変化に伴う「家庭教育力」
　　の低下について
　　課題の提示について
 - ・演習：テーマ「親の二極化」についてグループ討議・発表
- 【受講者からの声】**
- ・ファシリテーターのやり方を学べて参考になった。
 - ・現代社会の問題がクローズアップされ、子ども社会を見直す良い機会となった。
 - ・子どもの居場所の大切さを実感できた。
 - ・グループワークをすることで、たくさんの話を聞くことができて良かった。
 - ・他の団体との交流が図れて良かった。



家庭教育支援事業については、各地域でも開催されます。ぜひご参加ください。